

# 構想の背景を知って安心、納得して推進

## G I G A スクールを 乗りこなす ⑩



### 教育委員会の本音を オンライン座談会で知る

亀池威一郎

GIGAスクール構想推進委員会  
情報発信部会 自治体・学校情報発信  
サブ部会長

【監修】一般社団法人ICT CONNECT21

GIGAスクール構想推進委員会 情報発信部会

運営中のGIGAスクール構想の情報集積サイト「GIGA HUB WEB」

URL : <https://giga.ictconnect21.jp/> (「GIGAスクール情報」で検索)

#### 毎月開催される「オンライン座談会」

G I G A スクール構想推進委員会 情報発信部会 自治体・学校情報発信サブ部会では、2021年度より教育委員会や学校の先生方から「オンライン座談会」という場を提供しています。毎月テーマを定めて、参加者が自身の所属先における実例や課題について意見交換を行います。座談会の内容は個人や所属する組織を明記しないかたちにとり、Webサイト「GIGA HUB WEB」で公開しています。

教育委員会や学校からの参加者にとっては課題や問題意識を共有することで所属先によりよいアイデアを持ち帰るきっかけとなりますし、傍聴する他メンバー（企業や研究機関）にとっても教育委員会や学校に提供するソリューションのヒントが見つかるきっかけとなっています。

そして、この座談会の内容をテキスト化して公開することは、G I G A スクール構想を推進するにあたってさまざまな悩みや問題を抱えている全国の関係者に、いい意味での刺激になると考えています。

#### どのようなテーマが選ばれているか

毎月のテーマは時事性・話題性や重要度な

どから決めています。参考までに21年6月～11月までのテーマをご覧ください。

● 6月：「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」について  
● 7月：利活用に向けたポトルネットワークとその解法

● 8月：今年の夏休みはどう過ごしたか？  
● 9月：デジタル庁「G I G A スクール構想」についてのアンケートの取りまとめ結果」について

● 10月：端末持ち帰りセキュリティポリシー  
― 策定、うまくいっていますか？  
● 11月：次年度G I G A 予算作成、どうなりましたか？

#### 参加者が本音で語り合う雰囲気

実際のオンライン座談会の場では、どのような内容が話し合われているのでしょうか。たとえば6月（テーマ「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」）の座談会の内容はテキスト化されWebサイト「GIGA HUB WEB」で公開されていますので、そこから拾いあげてみたいと思います（「6月座談会もよむ」<https://giga.ictconnect21.jp/202108123753/>）。

座談会の場に出てきた意見を整理すると、

※①内部ネットワークと外部ネットワークとの間に境界線を引き、その境界線上でセキュリティ対策を行う考え方。

以下の3点にまとめられます。

- ①「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」改訂は評価している
- ②改訂のタイミングなどスケジュールの全体像が見えないことに不満がある
- ③事業者に対してはもっと要求したいことがある

さらに細かく見ていくと、次のような声がありました。

「境界防御<sup>※①</sup>からゼロトラスト<sup>※②</sup>的な方向に舵を切る、ということが公式にアナウンスされたことはよかった」。

「アクセス制御やクラウド利用については踏み込んだ記述がある一方で、先生のクライアントの端末に関する記述に変更がないのは気になりました」。

「ネットワーク分離しなくても構わないということになれば、生徒個人の成績が家庭から確認できるようになる、というのは良い流れだと感じる」。

「改訂の見通しが立っていないように思えるのが気になった。今回の改訂を受けて、ネットワーク分離型のシステムを採用した学校や自治体で変更を検討したとしても、契約期間の縛りで次は4年後、

というところもあるだろう」。

「いまの状況では表に出てこない情報を収集できる自治体とそうでない自治体とで差が出てしまい、フェアではないように思える」。

「校内LANの補助金についても、もう少し期間に余裕があれば助かる」。

「事業者の中にはそもそもこのポリシーの存在自体を知らなかったり、存在は知っていても中身を読んでいなかったりする」。

「こちらでも事前に調べているが、どこまで調べれば出てくるのかわからないし、こちらの調べ方も悪いのかかと思ってしまふ。外部の第三者認証といった仕組みがうまく機能しているとありがたい」。

こうしたやりとりのなかから「教育委員会がこう進めればよい」「事業者が事前にこのような準備をすればよい」「ICT CONNECT 21のような団体が認証制度を設ければよい」といった意見もあがるなど、解決に向けた提案も積極的になされています。ご参加いただく方は何よりも児童・生徒のために教育を少しでもよくしようと考えているからこそ、厳しい討議を重ねています。

## オンライン座談会をもっと活用する

私はサブ部長として座談会の進行役を務めています。座談会の場合は基本的に和気藹々<sup>あいきげ</sup>としており、参加者はみなさん積極的に忌憚<sup>あじはら</sup>なく発言してくださいませ。座談会はオンライン形式が基本ですので、全国各地の教育委員会や学校の方々に、職場やご自宅より気軽に参加いただけます。現在は毎月第3木曜の18時より1時間の開催となっております。

GIGAスクール構想も「調達・導入」から「運用・活用」のフェーズに移行し、教育現場では日々新たな課題が生じ負担も増しているのではないのでしょうか。前代未聞のGIGAスクール構想を乗りこなしていくためにも、みなさんの状況や課題について他の教育委員会や学校とオンラインで共有し合うことはきつと有意義な結果を期待できると思います。

今後もGIGAスクール構想推進委員会情報発信部会 自治体・学校情報発信サブ部会ではオンライン座談会を開催し、その内容を「GGA HUB WEB」で公開していきます。オンライン座談会の内容を読むだけでなく、オンライン座談会に参加してみたい方はぜひ、GIGAスクール構想推進委員会までお問い合わせください。

※②内部・外部の区別を設けず多種多様なセキュリティ対策を講じる考え方で、クラウドサービスでも有効となる。